

## 気候情報

### 2013年8月の日本の天候

- 全国的に高温で、東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高かった
- 月降水量は、日本海側でかなり多かった
- 東・西日本太平洋側の一部と沖縄・奄美で少雨

#### 8月の天気概況

月を通じて太平洋高気圧が日本の南海上から西日本付近にかけて強かったため、東・西日本、沖縄・奄美では晴れて暑い日が多く、月平均気温はかなり高かった。北日本は、気圧の谷や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多かったが、南からの暖かい空気が入りやすく、月平均気温は高かった。8月上旬後半から8月中旬は、日本付近で太平洋高気圧の勢力が特に強まり、東・西日本中心に、晴れて厳しい暑さが続いた。7日から22日にかけて、連日全国の100地点以上のアメダス観測所で猛暑日となり、12日には、江川崎（高知県四万十市）で日最高気温が41.0℃となり歴代全国1位を更新した。

一方で、日本海側では西よりの湿った気流の影響で局地的に非常に激しい雨が降り、大雨となる日もあった。このため、月降水量は日本海側でかなり多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では、湿った気流の影響が小さかったため月降水量が少なかった。また、西日本太平洋側は平年並だったが、山陽や四国の瀬戸内側以外では少雨のところが多かった。

上旬：前半は、太平洋高気圧が日本の南海上で強く、沖縄・奄美では晴れて厳しい暑さが続いた。西日本では晴れの日が多く気温の高い状態が続いたが、西よりの湿った気流の影響で局地的な大雨となる日もあった。北日本と東日本日本海側は梅雨前線の影響を受け曇りや雨の日が多く、北日本では一時低温となった。東日本太平洋側でも、雲の広がる日が多かった。後半は、太平洋高気圧が西日本中心に張り出し、東日本以西では晴れの日が多く、旬の終わりは、各地で猛暑日となった。北日本では、晴れるところもあったが、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、9日は、秋田県・岩手県で記録的な豪雨となった。

中旬：太平洋高気圧の勢力が西日本付近で強く、東・西日本では太平洋高気圧に覆われ、厳しい暑さが続いた。沖縄・奄美では、晴れの日が多かったが、湿った気流や台風第12号の影響で雨の日もあった。

下旬：旬の初めは、太平洋高気圧が西日本中心に張り出したため、西日本や東日本太平洋側では晴れて厳しい暑さとなった。一方、北日本や東日本日本海側では、前線が日本海から東北地方に停滞し、曇りや雨となった。23日から26日にかけては、前線が日本海から本州の南海上へ南下し、西よりの湿った気流が流入したため、東・西日本では、日本海側を中心に大雨となり、特に島根県では、24日に記録的な豪雨となった。

27日以降は、高気圧に覆われ全国的に晴れの日が多かったが、月末は秋雨前線と台風第15号から変わった低気圧の影響で日本海側を中心に大雨となった。沖縄・奄美では、期間を通して、晴れの日が多かったが、台風第12号や湿った気流の影響で雨の降る日もあった。

#### 8月の気候統計

月平均気温：東・西日本、沖縄・奄美ではかなり高く、北日本で高かった。

月降水量：北・東・西日本日本海側でかなり多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では少なかった。北・西日本太平洋側では平年並だった。

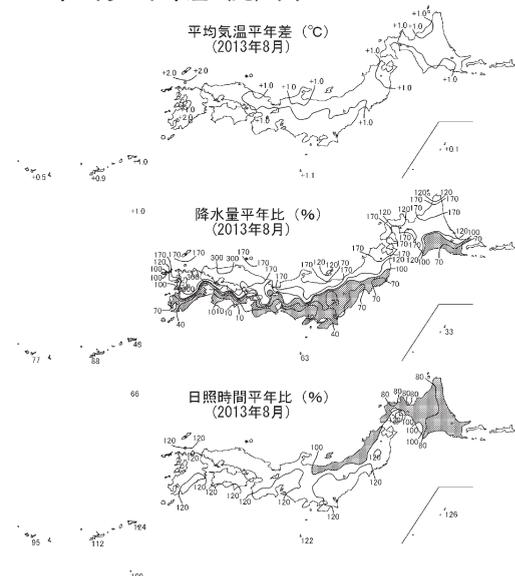
月間日照時間：西日本太平洋側ではかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側では少なかった。北日本太平洋側、東日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部情報管理室)

#### 8月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い方から（℃）  
浜松 28.8 宇和島 29.1 敵原 28.8  
鹿児島 30.0 など16地点
- ・月降水量の多い方から（mm）  
浜田 558.5
- ・月降水量の少ない方から（mm）  
清水 18.5 室戸岬 15.5 久米島 26.5

#### 2013年8月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す。